

管機連Daily News

2026年2月2日(月)

« 今日の主なニュース »

～ 日経ニュースなどを中心に抜粋 ～

◆国の債務超過699.4兆円 24年度、2年ぶり悪化

・財務省は2024年度末時点の国の資産と負債の状況を表す貸借対照表を公表。負債が資産を上回る「債務超過」は699.9兆円と23年度末から4.2兆円増えた。2年ぶりに悪化。一般会計の歳入不足をまかなう赤字国債などの発行が増えたことが影響した。資産は5.3兆円増の783.4兆円、負債は9.5兆円増の1483.3兆円だった。

◆実質GDP、10~12月の民間予測平均1.8%増 設備投資伸びる

・2025年10~12月期の実質国内総生産(GDP)について民間エコノミストに予測を聞いたところ、平均は前期比年率で1.8%増。2.3%減だった7~9月期から2四半期ぶりにプラス成長に転じる見通し。設備投資などが全体を押し上げる。30日に出そろった主要な経済指標を踏まえ、日本経済新聞社が民間10社に予測を聞いた。10社ともプラス。

◆外国人労働者初の250万人超 2025年10月時点、2桁増続く

・厚生労働省は日本国内の2025年の外国人労働者が257万1037人になったと発表。集計を開始した08年以来、初めて250万人を超えた。増加率は11.7%で、前年より0.7ポイント鈍化したが、3年連続で10%を超える伸びが続いている。25年10月時点の状況を集計。同じ時期の雇用者全体の約4%を占める。

« 業界ニュース »

～ 日経ニュース・日刊工業新聞・新建ハウジングなどを中心に抜粋 ～

◆浜松の住宅設備機器トクラス、ヤマダHD子会社に 顧客接点拡大

・住宅設備機器メーカーのトクラスはヤマダホールディングス(HD)の子会社になると発表。ヤマダデンキ店舗でのトクラス製品取り扱いを通じ顧客接点を拡大するほか、生産体制の効率化などでシナジー創出を見込む。2月27日に株式譲渡と普通株式転換を予定。「くらしまるごと」戦略の親和性が高い点などを踏まえた。

◆12月着工、持家は9カ月連続減 分譲は増加

・国土交通省が公表した2025年12月の新設住宅着工戸数は6万2118戸(前年同月比1.3%減)で、2カ月連続の減少。分譲住宅は増加に転じたものの持家、賃家は減少が続いた。季節調整済み年率換算値は2カ月ぶりに増加し、77万1000戸(前月比7.3%増)。持家は1万7496戸(前年同月比1.8%減)で9カ月連続の減少となった。

◆鉱工業生産指数、12月0.1%低下 生産用機械が振るわず

・経済産業省が発表した12月の鉱工業生産指数(2020年=100、季節調整済み)速報値は101.8となり、前月から0.1%下がった。半導体製造装置などの生産用機械工業が振るわず、2カ月連続の低下となった。全15業種のうち7業種が低下し、7業種が上昇。生産用機械工業は1.9%下がった。うち半導体製造装置は前月に輸出が増えた反動が出た。

« 注目商品 »

■パナソニック、コンパクト化と使い勝手向上を両立 compact-3 plan

・コンパクト化と使い勝手向上を両立した対面キッチンの新プラン。横並びの3つのコンロ「フラットワイドコンロ」、奥行を拡大し、3方向から囲んで使用できる「ラウンドアクセスシンク」、大容量で450mm幅の「フロントオープン食洗機」搭載プラン。



■パナソニック 健康を支援するバスルーム、電気式床暖房+平手すりを搭載

・システムバスルーム「BEVAS(ビバス)」から、電気式床暖房を備えた「ヒートセーフstyle」の提案を開始。超高齢社会における住まい手の安心と健康に対応するため、浴室空間を「住宅の中でできる生活習慣支援づくり」の場としても定義。



■ボッシュ、「BB-pro」から2in1コードレスインパクトドライバー

・プロ基準の安全性・作業性・耐久性を満たしたハイスタンダードシリーズ「BB-pro(Bosch Basic-pro)」の新ラインナップとしてボッシュ独自の2in1コードレスインパクトドライバー「GDX 18V-285」と「GDX 18V-285H(本体のみ)」を発売。独自の2in1ビットシステムを搭載。

